



世界への
プレゼントになろう

高砂青松ロータリークラブ

Rotary Club



Be a gift to the world

2015 - 16 年度国際ロータリーのテーマ

ガバナー 公式訪問

国際ロータリー第2680地区ガバナー

平成27年10月21日(水)

丸尾 研一様

私はロータリークラブ入会26年になりますが、ロータリーとは何かということはずっと考えてきました。人生には、物事を一変させるような、極めて重要な瞬間があります。その後のあらゆる経験は、この瞬間を基軸として測られることとなります。

私にとって、人生のターニングポイントはロータリークラブへの入会でした。あらゆる人生観、価値観が変わり、多くのものを授かりました。ロータリーは一つの人生哲学であり、私たちが人の心の美しさを学ぶためにあると考えます。そのために毎週の例会があり自己研鑽をはかり心を育てる場所でもあります。

110年前、ロータリーは友との集い「例会」から始まりました。それは今でも変わりません。ロータリーへ入会するという事は、例会に出席するという事です。クラブがあって例会が開かれるからあなたが出席するのではありません。あなたが出席するために例会が開かれています。例会は、ロータリーの出発点です。例会がなければクラブは成立しません。どんな大きなクラブでも土地も建物もありません。

私はビジネス社会に生きています。日々競争にさらされていますので、私にとって例会は非日常の世界であり心のオアシスでもあります。これからの私の人生は恩返しをしなくてはなりません。

ここで今年度RI会長K.R.Ravindran氏を紹介します。彼はスリランカ、コロomboロータリークラブ所属であり、プリントケアという会社のCEOであります。この会社はティーバッグの印刷と袋を日産一億袋以上生産しており世界的なシェアを持っています。私たちもどこかで彼の会社に貢献しているかもしれません。

今年度RIテーマは Be a gift to the world 「世界へのプレゼントになろう」というシンプルで深いテーマです。K.R.Ravindran 会長は、このテーマを考えているとき、ヒンドゥー教を通じて学んだ教訓を思い出しました。これは非常に貧しい少年スダマの物語ですが、これは今月の月信に書きましたので割愛させていただきます。

今年の1月18日、国際協議会においてRavindran 会長はスピーチの冒頭からこう言われました。

「私たちの命は永遠でなく、人生にはいつか終わりが訪れます。そしてその終わりは思ったより早く訪れます。しかし、そのことを忘れがちです。この限られた人生をどのように過ごしたらいいのでしょうか。」

ロータリーで私たちは善き行いを目指しています。大勢の人に人間の尊厳を与えたアブラハム・リンカーン。疎外された人たちに慈悲の心を捧げたマザー・テレサ。虐げられた人たちに平和的な変化を与えたマハトマ・ガンジー。彼らは皆、人びとのために人生を捧げ、自らが世界へのプレゼントとなって、自分自身を捧げました。何よりも大切なことは、品物でもなく、お金でもなく、自分自身を捧げることです。ただ「手渡す」と「手を差し伸べる」のには大きな違いがあります。特に、思いやりの心をもった温かい手であればなおさらです。だからこそ、皆さんにお願いします「世界へのプレゼントになろう」



私たちの第一の課題、そして最も重要な課題は、ポリオの撲滅です。25年以上前に私たちがポリオ撲滅の誓いを立てたとき、125カ国にポリオが常在し、毎日1000人以上の子供がポリオによる麻痺障害を患っていました。現在、ポリオ常在国は3カ国、そして昨年のポリオ症例数はわずかとなりました。そのほとんどは、パキスタン一国から報告されたものです。この国で私たちが闘う相手は、ポリオウイルスだけでなく、無知、残忍さ、抑圧の力です。私たちの課題は、ワクチンを子どもの口に届けるだけでなく、殺戮者たちから予防接種従事者を守ることでもあります。パキスタン政府と市民は、ロータリーとともに、ポリオのない未来を実現するために力を尽くしています。私たちは闘い続け、必ずや勝利します。なぜなら、私たちは、ポリオのない未来をプレゼントすると世界の子どもたちに約束したからです。

ロータリーは膨大な可能性を秘めています。しかし、多くのクラブや地区の現実に目を向けると、ロータリーのあるべき姿が映し出されていません。当組織を形づくった基本に立ち返る方法を見つける必要があります。それは、人生のあらゆる場での高い倫理基準、そして、各クラブに会員の多様性をもたらす職業分類です。これらは、会員増強の足を引っぱる障害に過ぎない、と見られることがあまりに多いのが現実です。しかし、これらはロータリーの成功に欠かせない要素であり、なおざりにすれば、自らの存在を危うくすることになるでしょう。これを受けて、当地区でも現代に合った職業分類表の推奨版を作成する予定です。

私たちには選択肢があります。授けられたものを自分の元だけにとどめるか、またはそれを生かして自らが「世界へのプレゼント」となるかです。

私から皆さんへのお願いは、授けられたものを、入念に、賢明に、そして惜しみなく生かすことです。

Be a gift to the world 「世界へのプレゼントになろう」

ご清聴ありがとうございました。



会長の時間 President

村上幹事から紹介していただいた「みやざき中央新聞」に興味ある記事が載っていました。

「お金は人のために使わないと幸せになれない」というお釈迦様の言葉があって、家々をまわって、お金や食べ物を集める「托鉢」というシステムを編みだしたのです。

これは、世の中から貧しさをなくす大発明だったのです。

お釈迦様は托鉢に向かう弟子たちにこう言いました。

「お金持ちの家ではなく、貧しい人たちの家を回って托鉢をしてきなさい！」と。弟子たちは驚きました。お金持ちの家から、お布施をいただくのではないのですか？

これまで私は、托鉢とは僧侶が自らの糧を得るために、布施を頂戴する修行だと思っていました。しかし、これにはもっと深い意味があったのです。

お釈迦様は、弟子たちにこう言ったそうです。

「貧しい人たちというのは、今まで自分が貧しいと思って、他人に対して施しをしてこなかった人たちです。それ故に、貧しさから抜け出すことができずにいるのです。だから、私たちが布施をいただきに行くのは、このような貧しい人たちをその貧しさから救ってあげるためなのだから、貧しい人の家をまわってきなさい。」

貧しい人がなぜ貧しいのか。それは、自分のためにしかお金を使わないからです。だから、その貧しい人たちに布施（他人のためにお金を役立てる）の尊さを教え、それによって貧しさから救ってあげるのが、托鉢なのです。

托鉢には、金額は関係ありません。貧しさから抜け出す最初の一步は、布施（寄付）をして、他人が喜ぶことのために、お金を使うことなのです。



西田会員、毎月有難いご報告です。

本日の食事

ニコニコ報告 Donation

田中 伸明

丸尾ガバナー、今田代表幹事、初谷随員、本日はようこそいらっしゃいませ。よろしくお祈りいたします。

庄司 武・鹿間 虹美・矢野 聡
村上 則宏・都倉 達殊・志方 正昭
柿木 國夫・西田 光衛・濱田 喜重
廣瀬 明正・内海 薫・西中 亮二
濱中 幹雄・大橋 卓司・井野 隆弘
藤本 明久・櫻井 宣孝・佐野 栄作
増田 耕太郎

丸尾ガバナー、今田学志様、初谷仁志様をお迎えして。

鹿間 行雄

井野先生お世話になっています。

岡本 崇司

今度は実父が井野先生にお世話になっています。よろしくお祈りいたします。

砂川 仁史・廣瀬 明正

結婚記念日の御祝ありがとうございました。

森脇 祥文

葬儀お礼



例会記録 2015.10.21 (水) 通算 1769 回

ソング 「我等の生業」「四つのテスト」

出席報告 10月 7日 会員数45名 欠席者 1名 出席率 97.50% (修正による)
(この内出席免除者 11名)

10月21日 会員数45名 欠席者 8名 出席率 79.49%
(この内出席免除者 11名)

本日のゲスト 国際ロータリー第2680地区ガバナー 丸尾 研一様

随行者

代表幹事

今田 学志様

国際大会参加推進委員会委員

初谷 仁志様

来訪ロータリアン 大西 健一様 (姫路東 R.C.)



1. 甲子園 RC より

地区補助金プロジェクト見学訪問の案内が届いております。
 プロジェクト名「元気な西宮っ子を育む自然保護への取り組み」
 11月14日(土) 14:00~16:15 於:ノボテル甲子園
 希望者は事務局まで 11月7日締切(回覧)



2. 国際ロータリー第2680地区より

ローターアクト「2015-16年スポーツ大会」の案内が届いております。(回覧)

3. 第37回 RYLA セミナー記録誌が届いております。(回覧)

4. ハイライトよねやま187号が届いております。(回覧)

5. 社会奉仕委員会より

高砂市学校保健大会表彰楯の寄託について、例年通り¥10,000 拠出しました。
 尚、11月5日の第55回高砂市学校保健大会にて佐野 栄作会員が学校医として永年努力されたことにより表彰されます。

6. ガバナー事務所より

東日本豪雨災害義捐金協力をお願いします。

近隣クラブINFORMATION Neighbor-club information

クラブ名	変更内容	日時・場所
明石西ロータリークラブ	例会変更	11月12日(木)→12:30~14:00 「スヌーズレン見学例会」 於:明石市立木の根学園
高砂ロータリークラブ	移動例会	11月13日(金)→11月8日(日) 秋の家族移動例会 於:大阪劇団四季劇場
加古川平成ロータリークラブ	合同例会	11月18日(水)→20日(金) 18:30~ 尼崎RCとの合同例会 於:ホテルモントレ神戸

(注)高砂青松ロータリークラブのホームページにも掲載しています。……ホームページの情報の方が早く把握できます。

◆ プログラム予定 ◆

10月28日(水) 卓話 【米山奨学委員会】	11月4日(水) 卓話 【R財団委員会】	11月11日(水) 卓話 【クラブ会報委員会】	11月18日(水) 卓話 【社会奉仕委員会】
------------------------------	----------------------------	-------------------------------	------------------------------

・昼メニューは仕入れの都合により変更することがあります。

会長 田中 伸明	幹事 村上 則宏	クラブ会報委員長 櫻井 宣孝
例会日時 毎週水曜日 12:30	例会場 高砂商工会議所会議室 (2F)	
事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (079) 443-0500		